

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 笠間市立岩間第一小学校

担当教諭名 綿引 睦子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

## 記

実施日時	平成 22年 12月 16日 ( 木 ) 10:30 ~ 13:30
対象学年と人数	5年生55名(2クラス), 6年生58名(クラス)
派遣講師名と出身国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オレリー・ノエル (フランス)</li> <li>・ソル ユンギョン (韓国)</li> <li>・新垣 マリア (ペルー)</li> <li>・パンディ ヘンプロバ (ネパール)</li> <li>・山形 正子 (コーディネーター)</li> </ul>
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の方の母国語でのあいさつ・自己紹介</li> <li>・フランス, 韓国, ペルー, ネパールの紹介(主食, 子ども達の遊び, 民族衣装, 文化など)</li> <li>・講師の方とのふれあい給食</li> </ul>
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	<p>事業に参加しての意見・感想</p> <p>講師の方々が、自分の出身国の文化や生活について、様々な方法で分かりやすく伝えてくださったので、児童は国際理解について興味・関心を高めることができました。国によって様々な文化や生活があることを具体的に知ることができて、共生の大切さを感じました。</p>
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランスの小学校では、夏休みが2か月もあるのに宿題がないということを聞いてうらやましくなりました。それから、昼ご飯は、食堂に行って食べることを知ってびっくりしました。また、朝の9時から夕方4時半までが学校で過ごす時間で、一クラスの人数は日本より少しだけ少ないことがわかり、遠い国でも似ているところがあるんだと思いました。</li> <li>・ぼくは、世界の広さに驚きました。ペルーまで、飛行機で片道23時間もかかると聞いてとてもびっくりしました。時速800キロメートル以上のスピードで進む飛行機でもそんなに時間がかかるなんて、世界はどれだけ広いんだろうと思いました。</li> <li>・世界には、様々な国、人種、言葉があって、一つ一つの国に様々な文化があるんだなと思いました。</li> <li>・私は、韓国とネパールの民族衣装を見て、素敵だなと思いました。韓国のチマがすごくおしゃれでした。ネパールの衣装は、上下がつながっていて、その長さが5メートル30センチメートルもあるので驚きました。いろいろな衣装を見て、いろいろな国に行ってたくさん服を着てみたいなと思いました。</li> <li>・フランス語は、発音がとても難しいと思いました。韓国は、日本と似ているところがたくさんありました。でも、民族衣装には、日本では着ない独特な感じがありました。</li> </ul>
先生の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化に接することができ、自分たちの文化と比較することができました。例えば、国によって小学校は5学年までしかないこと、落第があることを聞いて驚いていました。大変有意義な内容でした。</li> <li>・ペルーやネパールの民族ダンスをその国独特の音楽に合わせて、軽快に踊ることができました。初めて踊るダンスでも一人ひとりがリズムに乗って楽しく体験できました。</li> <li>・ペルー、ネパール、韓国の民族衣装を実際に試着させていただき、児童は、それぞれの国の民族衣装の特徴に興味を抱いていました。実際に、目で見て手に触れることができる体験は貴重だと思います。</li> <li>・紹介された韓国の食べ物は、児童にとっては身近な食べ物が多く、韓国に親近感がわいた児童もいました。異文化には、似ているものがあることを学ぶことも大切だと思います。</li> <li>・講師の方々は、様々な方法で母国の紹介をしてくださったので、児童は意欲的に話を聞いたり体験したりすることができました。</li> <li>・充実した時間を過ごすことができたので、その後の給食の時間でも、物おじせず楽しくコミュニケーションしながら食事を楽しむことができました。</li> </ul>

